

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	生物学				担当教員名	稲津 正人			
実務経験等	大学医学部教授として薬理学の教育に従事し、基礎医学の教育研究の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	60時間	単位数	4単位	区分	必修
授業概要	「生物学」のテキストを中心に対面授業で15回実施し、16回目にテストを実施し、この効果を図る。										
到達目標	生体内の物質の流れと働きについて、物質の代謝を中心に知識を習得する。										
使用教材	新体系 看護学全書 基礎科目 生物学メジカルフレンド社 2730円						評価方法	筆記			
授業内容											
1	物質代謝と酵素 1					16	人体の構造と機能				
2	物質代謝と酵素 2					17	細胞と組織の構造				
3	細胞を構成する成分 三大栄養素 1					18	体液とホメオスタシス				
4	三大栄養素 2					19	神経系の基礎				
5	三大栄養素 3					20	自律神経系				
6	五大栄養素					21	血液の組成と赤血球				
7	五・六大栄養素					22	白血球と血液凝固系				
8	肝臓のつくり					23	心臓の構造と機能				
9	肺のつくり					24	血管とリンパ管				
10	好気呼吸					25	循環調節機構				
11	嫌気呼吸					26	呼吸器系の構造と機能				
12	血液循環					27	呼吸運動の調節				
13	ホルモンとその働き					28	生殖器の構造と機能				
14	恒常性の維持					29	まとめ				
15	まとめ					30	演習				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋文学史				担当教員名	末岡 実			
実務経験等	古典、漢文を専門とし、40年大学で教鞭を取っていた。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	古典を題材に、東洋医学の基本的概念やその変遷の歴史を学ぶ。また、歴史的な変遷に引き続き、日本における資格制度の特殊性や現行の日本の東洋医学体系の多様性についても学ぶ。										
使用教材	プリント配布						評価方法		筆記		
授業内容											
1	オリエンテーション					9	『難経』より				
2	黄帝内経『素問』より					10	『神農本草経』『傷寒雑病論』より				
3	黄帝内経『素問』より					11	魏晋南北朝、隋唐の医学				
4	黄帝内経『素問』より					12	宗、金、元、明、清の医学				
5	黄帝内経『靈枢』より					13	『医心方』より				
6	黄帝内経『靈枢』より					14	近世～現代の日本の東洋医学				
7	黄帝内経『靈枢』より					15	まとめ				
8	『難経』より										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	言語によるコミュニケーション			担当教員名	富澤 和子、木村 智浩				
実務経験等	<p>【木村智浩】 中学校、高等学校（国語）講師として20年勤務。 小論文指導の経験から、他人にわかりやすく、的確に伝えることのできる文章力が身につく授業を行う。</p> <p>【富澤和子】 本校では、東洋療法科・救急救命科にて20年以上にわたり、医療英語を担当。また、その他、看護学校や高等学校においても英語教育に携わり、その経験をもとに、当該科目の教育を行う。</p>										
年次	1学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	<p>1回目～13回目：講師 木村 智浩 14回目～15回目：講師 富沢 和子</p>										
到達目標	<p>医療従事者として、スタッフや患者様と十分な意志疎通ができることが求められる。自分自身の考えを言語で表現し、他人の言語による表現を正しく理解するため、文章を書く・読む等の作業を中心とした授業を実施する。また、カルテ記載時に必要な知識として、医療用語の英単語を中心に学習したり、外国人との簡単な医療現場での会話表現を学習したりする。</p> <p>2年次の医療面接、3年次のポリクリニックにつなげる下地を作る。</p>										
使用教材	テキストは使用しない。適宜プリントを配布する。授業中は国語辞典(電子辞書可)を用意しておくことよ。						評価方法	出席・課題・レポート			
授業内容											
1	オリエンテーション・グループワーク					9	論理的文章の書き方(3)				
2	作文と小論文の違いについて					10	論理的文章の書き方(4)				
3	口語と文語の違いについて					11	論理的文章の書き方(5)				
4	文章の表記について					12	敬語の使い方				
5	文章の表現について					13	既習事項の総復習				
6	文章の構成について					14	解剖学用語				
7	論理的文章の書き方(1)					15	Chapter 1 3、1 4 カルテを読むために				
8	論理的文章の書き方(2)										
特記事項	<p>毎回の授業の取り組み状況で評価します。 積極的な参加、発言を期待します。</p>										

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	古典			担当教員名	星 いつ子				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	東洋医学に関わる古典を学習することにより、経絡と経穴の基礎を理解させる。										
使用教材	プリント配布、経絡経穴概論、東洋医学概論						評価方法	レポート、出席、小テスト			
授業内容											
1	オリエンテーション					9	経絡の概要				
2	経穴に使われている漢字について					10	小テスト				
3	鍼灸業界事情					11	正経十二経①				
4	漢字のレポート発表					12	正経十二経②				
5	『黄帝内経』上古天真論編を読む					13	正経十二経③				
6	『黄帝内経』四気調神体論編を読む					14	奇形八脈				
7	経絡経穴の誕生					15	まとめ				
8	臓腑の概要										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	保健体育(前期)			担当教員名	小川 銀順				
実務経験等	かみながや鍼灸院.整骨院勤務1年 鍼灸師、あんまマッサージ指圧師										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	座学と実技										
到達目標	心身の発達過程や保健・衛生の知識を習得し、健康な生活を営む為の能力を養う。										
使用教材							評価方法	レポート			
授業内容											
1	オリエンテーション					9	レクリエーション				
2	健康と体力とは レクリエーション					10	ストレッチ、筋トレ				
3	体力測定					11	ウォーキング、筋トレ				
4	セルフストレッチ					12	レクリエーション				
5	自体重筋力トレーニング					13	ポールストレッチ、ヨガ				
6	ウォーキング、筋トレ					14	縄跳び、筋トレ				
7	縄跳びエクササイズ					15	まとめ				
8	ウォーキング、筋トレ										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	保健体育(後期)			担当教員名	小川 銀順				
実務経験等	かみながや鍼灸院.整骨院勤務1年 鍼灸師、あんまマッサージ指圧師										
年次	1学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	座学と実技										
到達目標	心身の発達過程や保健・衛生の知識を習得し、健康な生活を営む為の能力を養う。										
使用教材							評価方法	レポート			
授業内容											
16	目標決め、ボールゲーム				24	レクリエーション グループ決め					
17	ウォーキング、筋トレ				25	体幹トレーニング					
18	ペアストレッチ				26	ウォーキング、筋トレ					
19	グループ決めレクリエーション				27	ジム筋トレ					
20	ウォーキング、筋トレ				28	ジム筋トレ					
21	縄跳び、筋トレ				29	グループトレーニング					
22	レクリエーション				30	まとめ レクリエーション					
23	ヨガ										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎解剖学Ⅰ（前期）				担当教員名	木村 桃子、小倉 千都世			
実務経験等	<p>あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内のホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。</p> <p>あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。</p>										
年次	1学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	46時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	<p>ICT、教科書を教材とし、ICTをメインとして使用する。</p> <p>プリントは書き込み式の授業形態とする。</p> <p>模型を使用する。</p>										
到達目標	<p>人体の構成、運動器系の構造について習得させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の区分と方向を習得する。 ・骨の作用、構造を習得する。 ・筋肉の付着部、支配神経、作用を習得する。 ・関節の構造とその運動を習得する。 ・人体局所の神経系、血管系の走行を習得する。 										
使用教材	「解剖生理学」医歯薬株式会社「病気がみえるVol11」医療情報科学研究所					評価方法		筆記			
授業内容											
1	骨の総論					16	自由下肢の骨（大腿骨、脛骨、腓骨）				
2	関節					17	足の骨、足趾の骨				
3	関節運動					18	下肢帯の筋（内寛骨筋、外寛骨筋）				
4	筋の総論					19	大腿の筋（伸筋群、屈筋群）				
5	脊柱					20	大腿の筋（内転筋群）				
6	胸郭（胸骨・肋骨・胸郭全体の運動）					21	下肢前面、後面の筋				
7	上肢帯の骨（鎖骨・肩甲骨）					22	下肢外側面の筋、足の筋				
8	自由上肢の骨（上腕骨・尺骨・橈骨）					23	前期総合演習				
9	手の骨・指の骨										
10	体幹の筋（胸筋・腹筋・背筋）										
11	上肢帯の筋										
12	上腕の筋										
13	前腕の筋										
14	手の筋・肩関節・肘関節・手関節										
15	下肢帯の骨（寛骨、骨盤）										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎解剖学Ⅰ（後期）	担当教員名	木村 桃子、小倉 千都世						
実務経験等	<p>あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内のホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。</p> <p>あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。</p>										
年次	1学年	開講期		種別	演習	時間数	14時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	<p>ICT、教科書を教材とし、ICTをメインとして使用する。</p> <p>プリントは書き込み式の授業形態とする。</p> <p>模型を使用する。</p>										
到達目標	<p>人体の構成、運動器系の構造について習得させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の区分と方向を習得する。 ・骨の作用、構造を習得する。 ・筋肉の付着部、支配神経、作用を習得する。 ・関節の構造とその運動を習得する。 ・人体局所の神経系、血管系の走行を習得する。 										
使用教材	「解剖生理学」医歯薬株式会社「病気がみえるVol11」医療情報科学研究所						評価方法	筆記			
授業内容											
24	頭蓋骨（頭蓋骨の成り立ち）										
25	脳頭蓋の骨										
26	顔面頭蓋の骨										
27	頸部・顔面の筋										
28	股関節・膝関節・足関節・顎関節										
29	全身の局所解剖・関節										
30	後期総合演習										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎解剖学Ⅱ（前期）			担当教員名	中澤 麻耶				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師として治療院勤務をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	人体の循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系の構造について習得させる。										
使用教材	「解剖生理」医歯薬出版 7590円＋税						評価方法		筆記		
授業内容											
1	導入 人体の構成 細胞					9	循環器系 静脈				
2	人体の構成 組織					10	循環器系 胎児循環				
3	人体の構成 皮膚					11	循環器系 リンパ系				
4	循環器系 血管系					12	呼吸器系 鼻腔・咽頭				
5	循環器系 心臓					13	呼吸器系 気管・気管支				
6	循環器系 動脈					14	呼吸器系 肺				
7	循環器系 動脈					15	前期まとめ				
8	循環器系 静脈										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎解剖学Ⅱ（後期）			担当教員名	中澤 麻耶				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師として治療院勤務をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期		種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	人体の循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系の構造について習得させる。										
使用教材	「解剖生理」医歯薬出版 7590円＋税						評価方法		筆記		
授業内容											
16	消化器系 咽頭・食道				24	生殖器系 男性生殖器					
17	消化器系 胃				25	生殖器系 女性生殖器					
18	消化器系 小腸				26	生殖器系 受精・発生					
19	消化器系 大腸				27	内分泌系 下垂体					
20	消化器系 肝臓				28	内分泌系 松果体・甲状腺・上皮小体					
21	消化器系 膵臓・腹膜				29	内分泌系 副腎・膵臓・性腺					
22	泌尿器系 腎臓				30	後期まとめ					
23	泌尿器系 尿路										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎生理学			担当教員名	稲津 正人				
実務経験等	大学医学部教授として薬理学の教育に従事し、 基礎医学の教育研究の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	毎回ハンダアウトを配布し、板書及びパワーポイントを用いた図説による講義を行う。										
到達目標	生体の恒常性や、生体を構成する細胞について学び、生命倫理を学ぶ礎を養う。										
使用教材							評価方法	筆記			
授業内容											
1	消化器系の構造と機能				9	腎臓による体液の調節					
2	口腔内、胃内の消化				10	内分泌系による調節					
3	腸内の消化と吸収				11	全身の内分泌腺と内分泌細胞					
4	消化管ホルモン				12	ホルモン分泌の調節					
5	エネルギー代謝 & 糖質代謝				13	生殖器の構造と機能					
6	脂質 & タンパク質				14	まとめ・演習					
7	体温とその調節				15	試験対策					
8	腎臓の構造と機能										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	運動器実技			担当教員名	木村 桃子、星 いつ子				
実務経験等	<p>あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内のホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。</p> <p>あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。</p>										
年次	1学年	開講期		種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	演習										
到達目標	<p>運動器系の構造を想起し、人体においてその位置、作用などを確認する技術を習得させる。また、解剖実習を通し、人体構造に関する知識の再確認、及び定着を図る。</p>										
使用教材	改訂版 ボディナビゲーション医道の日本社						評価方法		実技		
授業内容											
1	全身のランドマーク				9	下肢の動き（股関節）					
2	上肢の動き（肩甲骨）				10	下肢の動き（股関節）					
3	上肢の動き（肩関節）				11	下肢の動き（膝関節）					
4	上肢の動き（肩関節）				12	下肢の動き（足関節・足趾）					
5	上肢の動き（肘関節）				13	下肢の動き（まとめ）					
6	上肢の動き（手関節・指）				14	試験対策					
7	上肢の動き（まとめ）				15	試験対策					
8	下肢の動き（骨盤）										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	公衆衛生学Ⅰ			担当教員名	松田 信晴				
実務経験等	鍼灸師として、訪問治療、本学附属臨床施設での治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	人の健康を取り巻く環境について学習し、衛生学・公衆衛生学、健康についての知識を獲得する。										
使用教材	衛生学・公衆衛生学(医歯薬出版)						評価方法		筆記		
授業内容											
1	衛生学・公衆衛生学とは 公衆衛生学の歴史、衛生学の位置づけ					9	環境の定義 物理的環境適応と馴化				
2	健康の概要 健康増進 健康管理					10	大気 騒音 振動 電磁波				
3	健康増進法 飲酒と喫煙					11	科学的環境 生物学的環境・廃棄物				
4	地域保健法 衛生行政 保健所と市町村の役割					12	上下水道とその処理法				
5	医療制度と医療保障 医療の倫理					13	公害				
6	食品と栄養疾病 欠乏症と過剰症					14	地球規模の環境問題				
7	食品添加物					15	まとめ				
8	食品衛生学 食中毒										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅳ			担当教員名	川口 禎子				
実務経験等	<p>・鍼灸治療院で鍼灸マッサージ師として26年勤務中(はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師) ・15年前より個人での出張治療も行っている。</p> <p>鍼灸師として長年治療院で勤務をしている経験から、臨床に必要な疾患の知識と判断能力について授業を行う。</p>										
年次	1学年	開講期		種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	講義、PC、プロジェクター										
到達目標	<p>第8章整形外科の内容は、外傷や全身的症状を含み、具体的かつ即時的治療を要する疾患群の治療体系を網羅する。これらの症候群は初期判断によって、患者さんの予後を決定する要素が強い。この初発・初期診断における判断能力を向上させるために、十分な疾患知識と治療計画を含んだ知識を理解し、応用できるレベルにまで到達することが肝要である。</p>										
使用教材	「臨床医学各論」医歯薬出版						評価方法	筆記			
授業内容											
1	総論					9	脊椎疾患 1				
2	関節疾患 1					10	脊椎疾患 2				
3	関節疾患 2					11	脊髄損傷				
4	骨疾患 1					12	外傷 1				
5	骨疾患 2					13	外傷 2				
6	筋・腱疾患 1					14	その他の整形外科疾患 1				
7	筋・腱疾患 2					15	その他の整形外科疾患 2				
8	形態異常										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	職業倫理学			担当教員名	庄田 元				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る 鍼灸マッサージ教員 2004年4月より現在に至る										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	各テーマに則った内容について、グループおよび個人で探究活動を行い、そのディスカッションを行う。 資料は配布可能なものについては配布する。										
到達目標	あはき師に求められる倫理哲学及び福祉思想を確立し、医療従事者に相応しい人格形成が行われることを目標とする。また、時代とともに変遷する社会保障制度を学ぶことで、これからのあはき師が果たすべき社会的な役割について考える。 あはき師についての各自が気になることを探究し、問題・課題をみつけて、それに対する情報を広く集め、問題・課題を解消する方法を模索する。そして職域を広げる可能性についても考える。										
使用教材	「社会あはき学第3版」医道の日本社					評価方法	発表・レポート				
授業内容											
1	オリエンテーション					9	あはき師の役割 ストレス社会				
2	あはき師の資格について					10	あはき師の役割 スポーツ傷害				
3	あはき師の業務について					11	あはき師の役割 QOLの向上				
4	施術の内容・料金について					12	探究活動				
5	施術所の経営・広告について					13	探究活動				
6	あはき師の役割 高齢化社会					14	探究活動の発表				
7	あはき師の役割 少子化社会					15	レポート提出				
8	あはき師の役割 女性の健康管理										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学概論Ⅰ（前期）			担当教員名	松田 信晴				
実務経験等	鍼灸師として、訪問治療、本学附属臨床施設での治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	東洋医学の基礎理念と東洋医学に基づいた施術を行うための基礎概念を習得させる。										
使用教材	「新版 東洋医学概論」維道の日本社 5,200円＋税						評価方法	筆記			
授業内容											
1	東洋医学の起源と歴史					9	神				
2	天人合一思想と陰陽・五行					10	人体における陰陽				
3	虚実、標本、鍼灸師の条件、未病治、治療原則					11	蔵象学説の要点				
4	日本の伝統鍼灸と中国の伝統医学					12	肝				
5	精気神と精					13	心				
6	気					14	脾				
7	血					15	まとめ				
8	津液、生理物質の相互関係										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学概論Ⅰ（後期）			担当教員名	松田 信晴				
実務経験等	鍼灸師として、訪問治療、本学附属臨床施設での治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期		種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	東洋医学の基礎理念と東洋医学に基づいた施術を行うための基礎概念を習得させる。										
使用教材	「新版 東洋医学概論」維道の日本社 5,200円+税						評価方法	筆記			
授業内容											
16	肺					24	臓腑弁証				
17	腎					25	肝の病証				
18	六腑					26	心の病証				
19	臓腑の相互関係					27	脾の病証				
20	病証～治療までの考え方					28	肺の病証				
21	弁証の種類					29	腎の病証				
22	八綱弁証					30	まとめ				
23	気血津液弁証										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	はりきゅう理論Ⅰ			担当教員名	松田 信晴				
実務経験等	鍼灸師として、訪問治療、本学附属臨床施設での治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	講義										
到達目標	伝統ある東洋医学の基本概念を理解させる。また、鍼灸の歴史、鍼・灸の意義、施術にあたってのリスク管理、鍼・艾などの道具に対する適切な知識を習得させる。										
使用教材	はりきゅう理論（医道の日本社）						評価方法		筆記		
授業内容											
1	オリエンテーション、鍼灸施術の意義と特徴、基礎知識				9	灸の基礎知識 艾について					
2	基礎知識				10	灸の基礎知識 灸術の種類					
3	刺鍼法の種類と刺鍼の術式、消毒法、前揉法、後揉法				11	灸術①隔物灸					
4	刺鍼法の種類と刺鍼の術式				12	臨床応用 刺激量、感受性、適応と禁忌					
5	刺鍼法の種類と刺鍼の術式				13	リスク管理—注意事項、過誤と副作用					
6	特殊鍼法				14	感染症対策					
7	特殊鍼法①低周波鍼通電療法（パルス）				15	艾作り					
8	特殊鍼法②耳鍼										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	経絡経穴学（前期）			担当教員名	小倉 千都世、松田 信晴				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・医療徒手リンパドレナージセラピストとして、中医学研究所、内科クリニック、漢方薬局、鍼灸治療院・開業での治療経験を積み、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	14時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	座学と演習。取穴時に実技室使用。 毎週小テストを行い、要穴を中心に取穴演習を行う。										
到達目標	鍼灸治療の基本となる経脈・経穴について、経絡の流注、経穴の名称及び部位、骨度、および要穴を中心に学習する。										
使用教材	「新版 経絡経穴概論」 医道の日本社 授業中の配布プリント						評価方法	筆記 小テスト			
授業内容											
1	授業概要説明 経絡経穴学とは										
2	体表指標と骨度俵										
3	要穴についての概要 骨度表小テスト										
4	任脈 要穴の種類の小テスト										
5	手太陰肺経 任脈小テスト										
6	手陽明大腸経 手太陰肺経小テスト										
7	足陽明胃経① 手陽明大腸経小テスト										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	経絡経穴学（後期）			担当教員名	小倉 千都世、松田 信晴				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・医療徒手リンパドレナージセラピストとして、中医学研究所、内科クリニック、漢方薬局、鍼灸治療院・開業での治療経験を積み、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期		種別	演習	時間数	46時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	座学と演習。取穴時に実技室使用。 毎週小テストを行い、要穴を中心に取穴演習を行う。										
到達目標	鍼灸治療の基本となる経脈・経穴について、経絡の流注、経穴の名称及び部位、骨度、および要穴を中心に学習する。										
使用教材	「新版 経絡経穴概論」医道の日本社 授業中の配布プリント						評価方法	筆記 小テスト			
授業内容											
8	足陽明胃経② 足陽明胃経小テスト①				23	手少陽三焦経① 手厥陰心包経小テスト					
9	足太陰脾経① 足陽明胃経小テスト②				24	手少陽三焦経② 足少陽胆経① 手少陽三焦経小テスト①					
10	足太陰脾経② 足太陰脾経小テスト①				25	足少陽胆経② 手少陽三焦経小テスト② 足少陽胆経①小テスト					
11	手少陰心経 足太陰脾経小テスト②				26	足少陽胆経③ 足少陽胆経小テスト②					
12	手太陽小腸経① 手少陰心経小テスト				27	足厥陰肝経 足少陽胆経③小テスト					
13	手太陽小腸経② 手太陽小腸経小テスト①				28	奇経八脈① 足厥陰肝経小テスト					
14	督脈① 手太陽小腸経小テスト②				29	奇経八脈② 要穴総復習					
15	督脈② 足太陽膀胱経① 督脈①小テスト				30	総括 要穴小テスト					
16	足太陽膀胱経② 督脈②・膀胱経小テスト①										
17	足太陽膀胱経③ 背部横並びの経穴 足太陽膀胱経小テスト②										
18	足太陽膀胱経④ 足太陽膀胱経小テスト③										
19	中間テスト 足陽明胃経続き～足太陽膀胱経まで										
20	足少陰腎経① 足太陽膀胱経小テスト④										
21	足少陰腎経② 足少陰腎経小テスト①										
22	手厥陰心包経 腹部の横並びの経穴 足少陰腎経小テスト②										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	社会あはき学Ⅰ			担当教員名	専任				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期		種別	講義	時間数	16時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	治療体験・講演聴講・見学実習										
到達目標	あはき師の仕事を知るために臨床家の治療を体験したり、臨床家の講演を聞きそれをレポートにまとめて、自分の将来像の基礎を築く。										
使用教材							評価方法	レポート			
授業内容											
1	オリエンテーション										
2	治療体験										
3	オープンキャンパス特別講演①										
4	オープンキャンパス特別講演②										
5	治療体験・特別講演のレポート作成										
6	解剖見学実習										
7	解剖見学実習										
8	解剖見学実習のレポート作成										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎はり実技（前期）				担当教員名	中澤 麻耶、星 いつ子			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技・実習形式										
到達目標	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に安全でスムーズな刺鍼動作が行え、最終的には、解剖学的な知識に基づき身体各部へ安全な刺鍼を行うことができるようになる。										
使用教材	はりきゅう実技〈基礎編〉第2版医道の日本社 3100円+税						評価方法	実技			
授業内容											
1	鍼とは（ガイダンス）					16	後期の説明、ステンレス鍼について、膝の解剖				
2	片手挿管と刺鍼動作の説明と実習					17	膝周囲への刺鍼				
3	片手挿管練習、切皮～抜鍼まで刺鍼の手順の説明					18	有害事象への対応、下腿への刺鍼				
4	片手挿管と旋撚刺法による刺鍼の練習					19	下肢及び動脈拍動部への刺鍼				
5	片手挿管小テスト、刺鍼練習					20	上肢への刺鍼				
6	いろいろなものへの刺鍼練習					21	腰部への刺鍼				
7	刺鍼動作の振り返り					22	腹部への刺鍼				
8	刺鍼動作の小テスト					23	肩上部への刺鍼				
9	刺鍼際の清潔動作と人体刺鍼の流れ					24	肩背部への刺鍼				
10	自身の下腿で刺鍼練習					25	中間試験				
11	自身の下腿で刺鍼練習、副反応への対処法					26	斜刺・横刺（下腿内側、頭部）				
12	刺鍼の練習(自分の下肢) 患者へ刺鍼する際の注意事項					27	顔面部への刺鍼				
13	刺鍼の練習(旋撚法・送り込み法) 相手の体への刺鍼練習（下腿・腹臥位）					28	坐位での刺鍼				
14	刺鍼の練習(旋撚法・送り込み法) 相手の体への刺鍼練習（下腿・腹臥位）					29	期末試験練習				
15	スムーズな刺鍼動作を身に付ける					30	期末試験				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎はり実技（後期）	担当教員名	中澤 麻耶、星 いつ子						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期		種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技・実習形式										
到達目標	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に安全でスムーズな刺鍼動作が行え、最終的には、解剖学的な知識に基づき身体各部へ安全な刺鍼を行うことができるようになる。										
使用教材	はりきゅう実技〈基礎編〉第2版医道の日本社 3100円+税			評価方法	実技						
授業内容											
16	後期の説明、ステンレス鍼について、膝の解剖			24	肩背部への刺鍼						
17	膝周囲への刺鍼			25	中間試験						
18	有害事象への対応、下腿への刺鍼			26	斜刺・横刺（下腿内側、頭部）						
19	下肢及び動脈拍動部への刺鍼			27	顔面部への刺鍼						
20	上肢への刺鍼			28	坐位での刺鍼						
21	腰部への刺鍼			29	期末試験練習						
22	腹部への刺鍼			30	期末試験						
23	肩上部への刺鍼										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎きゅう実技（前期）			担当教員名	棚田 徹也、小倉 千都世				
実務経験等	鍼灸師として、訪問治療、本学附属臨床施設での治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技・実習形式										
到達目標	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に艾をひねることができ、正しく点火が行え、身体各部へ施灸することができるようになる。										
使用教材	はりきゅう実技〈基礎編〉第2版医道の日本社 3100円+tax						評価方法	実技			
授業内容											
1	灸とは（ガイダンス）					9	曲面への施灸				
2	灸術の種類、艾と用具					10	灸熱緩和法、合谷への自己施灸				
3	艾炷の捻り方					11	手陽明経への自己施灸、夏季課題出題				
4	米粒大艾炷作成練習					12	足三里への自己施灸				
5	艾炷作成、線香の扱い方と点火					13	足陽明経への自己施灸				
6	平面上への施灸練習					14	三陰交への施灸、前腕・下腿への自由施灸				
7	平面上への施灸練習（自由描画）					15	人体施灸の手順、振り返り				
8	多壯灸										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎きゅう実技（後期）			担当教員名	棚田 徹也、小倉 千都世				
実務経験等	鍼灸師として、訪問治療、本学附属臨床施設での治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期		種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技・実習形式										
到達目標	はりきゅう理論で学んだ知識をもとに、実際に艾をひねることができ、正しく点火が行え、身体各部へ施灸することができるようになる。										
使用教材	はりきゅう実技〈基礎編〉第2版医道の日本社 3100円+tax						評価方法	実技			
授業内容											
16	基礎知識の確認					24	肩背部への施灸				
17	対人施灸の原則と注意、膝関節周囲への自己施灸					25	背部への施灸				
18	下腿部への自己施灸					26	腰部への施灸1				
19	相互施灸・前腕陽経					27	腰部への施灸2				
20	下腿部陽経への施灸					28	頭部への施灸				
21	上肢・下肢への施灸					29	全身施灸				
22	腹部への施灸					30	まとめ、総括				
23	肩部への施灸										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎あん摩実技（前期）	担当教員名	君嶋 眞理子、花田 光由						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として40年以上の臨床経験がある。 豊富な知識と経験、技術を活かした授業を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技										
到達目標	座位でのあん摩の基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。										
使用教材	基礎あん摩・マッサージ・指圧実技（基礎編）医道の日本社						評価方法		実技		
授業内容											
1	軽擦法					9	座位 肩上部				
2	揉捏法					10	座位 肩上部				
3	圧迫法/振戦法					11	座位 肩背部				
4	叩打法					12	座位 肩背部				
5	曲手					13	肩こりの手順 復習				
6	手技名の復習					14	肩こりの手順 復習				
7	手技名の復習					15	試験対策				
8	手技名 小テスト										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎あん摩実技（後期）	担当教員名	君嶋 眞理子、花田 光由						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として40年以上の臨床経験がある。 豊富な知識と経験、技術を活かした授業を行う。										
年次	1学年	開講期		種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技										
到達目標	座位でのあん摩の基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。										
使用教材	基礎あん摩・マッサージ・指圧実技（基礎編）医道の日本社						評価方法		実技		
授業内容											
16	座位 頸部					24	側臥位 肩背部～上肢				
17	座位 頸部					25	肩こりの手順 座位				
18	座位 頸部					26	肩こりの手順 側臥位				
19	座位 上肢部					27	手技別 個人指導				
20	座位 上肢部					28	手技別 個人指導				
21	座位 上肢部					29	手技別 個人指導				
22	側臥位 肩背部～上肢					30	試験対策				
23	側臥位 肩背部～上肢										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎マッサージ実技（前期）			担当教員名	木村 桃子、小倉 千都世				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・医療徒手リンパドレナージセラピストとして中医学研究所、整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診での治療経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技：授業課題の説明・デモンストレーション後、二人組で練習										
到達目標	あま指理論で得た知識をもとにマッサージの基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。										
使用教材	「あんまマッサージ指圧実技〈基礎編〉第2版」医道の日本社						評価方法	実技、レポート（後期）			
授業内容											
1	人体各部の名称とマッサージにおける心得(前期タルク使用)					9	上肢全体への手技				
2	タオルワーク マッサージの基本手技1					10	下腿前面・外側の手技				
3	マッサージの基本手技2					11	下腿後面・外側への手技				
4	前腕前側（屈筋群）の手技					12	下腿全体への手技				
5	前腕後側（伸筋群）への手技					13	大腿前面・内側への手技				
6	手部への手技					14	大腿後面・外側への手技				
7	上腕への手技①（主に前面）					15	前期まとめ				
8	上腕への手技②（主に後面）										
特記事項	授業時、施術を受けやすいように短パン、タンクトップなど必要 使用タオル：大判1枚、中判4枚、手ぬぐい										

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎マッサージ実技（後期）			担当教員名	木村 桃子、小倉 千都世				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内のホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。 あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。"										
年次	1学年	開講期		種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技：授業課題の説明・デモンストレーション後、二人組で練習										
到達目標	あま指理論で得た知識をもとにマッサージの基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。										
使用教材	「あんまマッサージ指圧実技〈基礎編〉第2版」医道の日本社						評価方法	実技、レポート（後期）			
授業内容											
16	手部、前腕への施術（後期オイル使用）				24	腰部への施術					
17	上肢全体への施術				25	腰背部への施術					
18	下腿前面、外側への施術				26	背部全体（起立筋、広背筋）への施術					
19	下腿後面、外側への施術				27	僧帽筋、肩甲骨周りの筋群への施術					
20	膝部～大腿前面、内側への施術				28	肩部、頸部への施術					
21	大腿後面、外測への施術				29	まとめ・復習①					
22	タオルワーク確認、大腿部全体への施術				30	まとめ・復習②					
23	臀部への施術										
特記事項	授業時、施術を受けやすいように短パン、タンクトップなど必要 使用タオル：大判2枚、中判1～3枚、手ぬぐい										

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎指圧実技（前期）			担当教員名	庄田 元				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る										
年次	1学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技、実習室										
到達目標	指圧の基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。 1年次には特に垂直圧ができるようになることを目指す。										
使用教材	あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>						評価方法	3回の実技試験（各30分）と「基礎指圧のポイント」課題書の合計			
授業内容											
1	指圧の心構え・手指の使い方・身体の使い方・ 手のケア 基礎指圧 仰臥位・下腿外側					9	伏臥位・肩甲間部				
2	仰臥位・下腿外側					10	伏臥位・肩甲間部 実技試験				
3	仰臥位・下腿外側					11	伏臥位・肩甲下部				
4	仰臥位・下腿外側					12	伏臥位・肩甲下部				
5	仰臥位・下腿外側 実技試験					13	伏臥位・肩甲下部				
6	伏臥位・肩甲間部					14	伏臥位・肩甲下部				
7	伏臥位・肩甲間部					15	伏臥位・肩甲下部 実技試験				
8	伏臥位・肩甲間部										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	基礎指圧実技（後期）			担当教員名	庄田 元				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月より現在に至る										
年次	1学年	開講期		種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	実技、実習室										
到達目標	指圧の基本手技を修得し、臨床に応用できる基盤を作る。 1年次には特に垂直圧ができるようになることを目指す。										
使用教材	あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>						評価方法	<small>3回の実技試験（各30分）と「基礎指圧ポイント」課題本の合計</small>			
授業内容											
16	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧					24	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢				
17	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧					25	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢 実技試験				
18	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧					26	側臥位 頸～肩甲間部				
19	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧					27	側臥位 頸～肩甲間部				
20	下腿外側・肩上部・浪越圧点の強圧 実技試験					28	側臥位 頸～肩甲間部				
21	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢					29	側臥位 頸～肩甲間部				
22	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢					30	側臥位 頸～肩甲間部 実技試験				
23	仰臥位/伏臥位 上肢・下肢										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	総合基礎実技			担当教員名	専任				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	1学年	開講期		種別	外部実習	時間数	60時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	実技・実習形式										
到達目標	2年次以降の臨床実習に向けて、臨床に必要なランドマークの確認、取穴、あんま・マッサージ・指圧、はり灸の基本的技術を学生同士で自律的に学習し、修得する。										
使用教材							評価方法	実技			
授業内容											
1	オリエンテーション					16	足の太陰脾経の取穴				
2	オリエンテーション					17	腰背部施術練習				
3	お灸(シート)練習					18	下肢の骨・筋の確認②				
4	上肢の骨・筋の確認①					19	下肢のランドマークチェック②				
5	上肢のランドマークチェック①					20	腰背部刺鍼練習				
6	マッサージ・あんま・指圧					21	手の少陰心経・手の太陽小腸経・手の少陽三焦経の取穴				
7	手の太陰肺経・手の陽明大腸経・手の厥陰心包経の取穴					22	腰背部施灸練習				
8	お灸(シート)練習					23	下肢の骨・筋の確認③				
9	上肢の骨・筋の確認②					24	下肢のランドマークチェック③				
10	上肢のランドマークチェック②					25	腰背部刺鍼練習				
11	マッサージ・あんま・指圧					26	足の太陽膀胱経の取穴				
12	足の陽明胃経・足の少陰腎経の取穴					27	下肢の骨・筋の確認④				
13	お灸(シート)練習					28	下肢のランドマークチェック④				
14	下肢の骨・筋の確認①					29	足の少陽胆経・厥陰肝経の取穴				
15	下肢のランドマークチェック①					30	まとめ				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	ウェルネスコーチング	担当教員名	野尻 友美						
実務経験等	現場での経験と科学的、解剖学的視点から効果的且つ特異性に合わせた授業を行う。 ストレングスコーチ、フィットネストレーナー、パーソナルトレーナーとして現場指導を30年・トレーナー育成としての講師を20年(アスレティックトレーナー)										
年次	1学年	開講期		種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	教室での講義と講堂・トレーニング実習室を利用した実技										
到達目標	スポーツ障害や健康増進のための運動の基礎を学び、患者にストレッチングやトレーニングを教えることができるなど、実際に体を動かしながらいろいろな知識を養う。										
使用教材								評価方法	筆記		
授業内容											
1	概要・オリエンテーション					9	ボールを使ったトレーニング (実技)				
2	健康とは・健康と運動の関係 (講義)					10	ストレッチボールのトレーニング (実技)				
3	ストレッチングの効果・種類 (講義)					11	ウェイトトレーニングの実際 (講義・実技)				
4	スタティックストレッチの実際 (実技)					12	ウェイトトレーニングの実際 (実技)				
5	各種ストレッチングの実際 (実技)					13	ウェイトトレーニングの実際 (実技)				
6	トレーニングの種類 (講義)					14	フィジカルトレーニングの実際 (実技)				
7	トレーニングの種類 (講義)					15	まとめ				
8	ダンベル・チューブを使ったトレーニング (実技)										
特記事項											